



身体の病気と歯科治療

認知症と歯科治療 その②

歯科医師 東海林 克

厚生労働省の発表によると、65～69歳での有病率は1.5%ですが、以後5歳ごとに倍に増加し、85歳では27%に達します。現時点で、我が国の65歳以上の高齢者における有病率は8～10%程度と推定されています。平成22年では200万人程度といわれてきましたが、専門家の間では、すでに65歳以上人口の10% 242万人程度に達しているという意見もあります。今後、高齢者人口の急増とともに認知症患者数も増加し、平成32年には325万人まで増加するとされます。今回は認知症と歯科疾患との関連、そして歯科治療時の注意点についてお話します

◆認知症の各症状と歯科との関連

中核症状

2. 実行機能障害

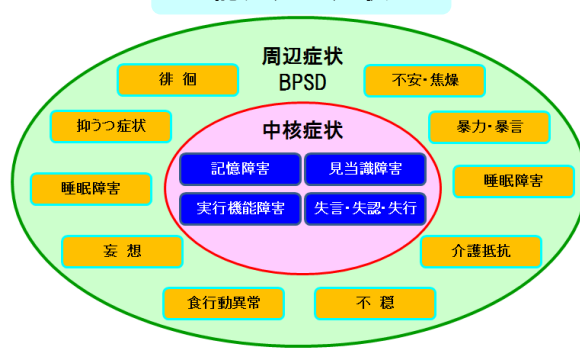
「実行機能（じつこうきのう）」は、「目的をもった一連の行動を自立して有効に成し遂げるために必要な機能」と定義されていて、ものごとを論理的に考えたり、順序立てて考え、状況を把握して行動に移す思考・判断力する機能のことです。

- ・この機能が低下すると
- ・電話をかける、
- ・買い物をする、
- ・料理をつくる



- ・掃除をする、
- ・洗濯をする、
- などのことを順序立ててできなくなるので、家事全般に障害が発生することとなります。

認知症の症状

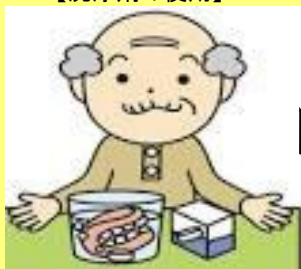


歯科との関連

実行機能が障害を受けると、日常行っている行為ができなくなります。そのため、「整容行為（せいようこうい）」である。洗顔、衣服の着替えなどに注意が行かなくなります。整容行為の一つである口腔の清掃ができなくなります。特に入れ歯は日々の手入れが必要です。毎晩入れ歯を外して、義歯用ブラシをかけて、その後保管容器に「義歯洗浄剤（ぎしせんじょうざい）」を入れて、入れ歯を漬けるということが必要です。又、朝起きたときには、保管容器から入

日々の入れ歯の清掃と洗浄液の使用

【洗浄剤の使用】



【入れ歯での清掃】

れ歯を取り出して、流水下で義歯用ブラシをかけてから口の中に装着しなければなりません。当然のことながら、部分入れ歯の場合には、入れ歯をとめている歯の清掃も必要となります。これらの行為を行う実行機能が障害を受けると、むし歯や歯周病の進行、入れ歯の適合不良や紛失、口腔粘膜の感染症を起こしやすいだけでなく、口腔内の細菌数が増加することで、「誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）」を起こす危険性が高まります。

3. 見当識障害

「見当識（けんとうしき）」とは、「時間・場所・人物などから、自分のおかれた状況を判断する機能」とされます。見当識が低下すると。

- ・いま、いる場所が分からなくなってしまう
- ・日付や曜日の把握が難しくなってしまう

- ・見たことのある人だけ、自分との関係性が分からなくなってしまうなどといったことが起こります。

これらの内で、人間関係の判断能力の低下は、認知症がかなり進んでからと言われています。

見当識障害の症状



【場所が分からない】



【日付・曜日が分からない】



【身近な人が分からない】

見当識が障害を受けると、時間や場所に関する判断機能が低下します。そのため、生活の基本となる「食事」の時間、場所に関する判断力が低下します。食事の時間や場所を間違えたりします。手洗いの場所を忘れてしまったり、尿意があっても間に合わず、「失禁（しっこん）」することがあります。自分の部屋の場所を忘れてしまうので、いろいろさ迷い歩く「徘徊（はいかい）」が起こるのは、この障害に伴うものです。また、人間関係に関する判断能力も低下しますので、話しかける人を自分と誤認しやすくなります。

入れ歯の手入れを怠ると・・・



59 歳男性、認知症で一人暮らしだった方のお口の中です。1ヶ月ほど入れ歯を外していなかったことから、粘膜に張り付いてしまい、外すことができていませんでした。



入れ歯を外すと、分泌物（ぶんぴぶつ）の固着や粘膜の炎症が見られました。

外した入れ歯に形成された「歯石（しせき）」です。細菌の塊ですので、炎症の要因となります。



歯科との関連

定期的に歯科を受診していた方でも、見当識の障害が出ると、予約の日時や普段かかっている歯科の場所を思い出せなくなるため、通院しなくなります。また、毎日行う洗顔を含めた整容行為の時間、洗面所のある場所が分からなくなり、歯磨きや入れ歯の手入れをすることだけできなく、入れ歯をしている事も忘れてしまいます（右図参照）。また、義歯の破損や紛失も多くなるので、管理を要します。

項 ◆ 歯科治療を受ける際の注意事項

認知症によって、実行機能や見当

識の障害を受けると、歯科の治療が必要な状態にあっても、一人で定期的な歯科を受診すること自体が困難になることが多くなります。また、歯科治療中には、治療を円滑に安全に進めるためには、日々のお口の中の清掃や入れ歯の手入れが非常に重要となることから、いろいろな注意事項に関して説明や指導があります。歯科の治療を受ける際には、可能であれば身内の方や施設の方の同伴が望ましいと思います。口腔内の保清や、入れ歯の清掃・保管に関しても、自分で行うことが困難ですので、介助が必要となります。

以下次号に続く

《引用文献》

- (1) メンタルナビホームページ
- (2) 株式会社製薬 忘れっぽくなったのは老いのせい？ 家族だからキャッチできる、認知症のサイン ホームページ
- (3) アルツハイマー病（認知症）総合サイト
- (4) 岐阜県中津川市公式ウェブサイト
- (5) 静岡県沼津市ホームページ

